

活動報告

団体名	埼玉県立大学災害支援プロジェクト
活動名	埼玉県立大学生による広島県三原市災害ボランティアセンター運営支援事業
活動期間	2018/8/7 ~ 2018/10/11
活動の成果	<p>埼玉県立大学の学生 13 名・延べ 92 名が、広島県三原市において、長期的に災害ボランティアセンターの運営支援活動を行いました。岩手県、長野県、広島県の学生とも協働し、延べ約 250 人の学生が、50 日間継続して活動を実施しました。</p> <p>学生間で引き継ぎながら様々な活動を行うことができたことが大きな特徴です。地元職員も被災し、またより業務が多忙になっている中で、社会福祉や看護を学ぶ学生の長期的なサポートにより、一定の貢献ができたと考えられます。職員の方々にも、「若い力をもらうことで業務を続けることができた」とおっしゃっていただきました。また、連日訪れるたくさんのボランティアや、被災者の方々にも若いエネルギーをもたらすことができたと考えています。</p> <p>学生自身も、普段の学習で培った力を発揮する機会、そして学習の機会となりました。平穏な暮らしを一変させた災害の脅威にショックを受けつつも、訪問活動などを通じて被災者の生活ニーズについてより深く考え、また被災者に寄り添う職員の接し方から多くのことを学ぶことができたと思います。</p> <p>被災地に力と活力をもたらし、また今後の自然災害発生時に力を発揮する次世代を育てる機会となりました。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>長期休暇中は比較的自由に使える時間があり、気力・体力ともに充実した学生は、このような被災地支援に大きな力を発揮するはずですが、しかし被災地が遠隔の場合、交通費や宿泊先の確保が活動に踏み出す際のネックになっております。</p> <p>今回、ご寄付をいただいた皆様のおかげで、その障壁を取り除くことができました。本当にありがとうございました。さらに、今回は「空家」の活用を申し出てくださる方がおり、滞在先もご支援いただきました。</p> <p>困っている方がおり、支援する若者がおり、その若者を支援してくださる方々がいる。このような「オモイ」循環を今後も認識しながら、学生の活動支援を行っていきたいと思います。今後ともどうぞよろしく願いいたします。</p>

(活動のようす)

